

楽団紹介

成田シニアアンサンブル「青空」 青空広報・今泉

■発足：2013年9月 ■活動拠点 成田中央公民館

1 団員

21名。(女性11、男性10) Vn(5) Vc(1) G.B(1) C,b(1) Mn(1) Fl(5) Cl(1) A.Sax(1) Pf(3)

2 レパートリー

クラシック：①カノン ②小さな木の実

タンゴ：③カミニート

童謡：④月の砂漠 ⑤浜辺の歌

映画音楽：⑥サンライズサンセット ⑦川は呼んでいる

⑧シャレード

ポップス・他：⑨サントワマニー ⑩遠くへ行きたい

⑪雪の降る街を ⑫昂 ⑬影を慕いて

メドレー：⑭ヨーロッパ民謡「アニーローリ・ロンドンデリーの歌・ローレライ・禁じられた遊び・オーソレミオ・シャローム・王の行進」

⑮アメリカ民謡「赤い川の谷間・峠の我が家・アルプス一万尺」

⑯日本民謡「八木節・お江戸日本橋・山寺の和尚さん」

⑰黒人靈歌「リバーブリック讃歌・深い川・メイジング・グレース・ジェリコの戦い」

⑱アベマリア「カッチニ・アルカデルト・シユベルト」

3 活動

毎週金曜日：午前中9時30分から2時間

4 演奏実績

①成田公民館祭り 2013年11月2日(土) (当団初回)

②「Ni'ゲーセンタ-成田」訪問演奏 2014年7月27日(日)



当団にとって初訪問演奏でしたが、訪問先では大変喜んで頂き、即次回訪問を依頼されました。「月の砂漠・浜辺の歌・影を慕いて」の3曲は皆さんに歌って頂き好評を頂きました。

5 演奏会予定

①成田公民館祭り 2014年10月25日(土) 中央公民館

②「日吉祭コンサート」 2015年2月 富里市北区コミュニティセンター

③定期演奏会 2015年後半実施に備えて準備開始

6 広報活動

gooブログ原則週1発行「成田シニアアンサンブル青空」

習志野シニアアンサンブル

代表 月岡喜久雄

習志野シニアは平成24年2月に、千葉シニアの関係者3名が発起人となって発足しました。当初は団員も少ないので、千葉シニアや幕張フィル団員の方々の応援をいただきながらのスタートでした。現在団員数は、29名。楽器の構成は弦楽器14、管楽器9、鍵盤楽器3、ギター、ベース、尺八各1となっています。

地元イベントや老人施設等への出前演奏は、年平均約8回とやや多いのですが、定期演奏会や全国大会への出演はまだありません。全シ連会員の中では不肖の息子かもしれませんね。

順調に行きましたら、今年は定期演奏会を実現すべく、候補曲の選定や編曲にかかるはいますが、この原稿を書いている時点ではまだ曲目は決まっていません。

編曲は指揮の澤田敏春先生の作品を中心に笠森敏明先生や、足立シニアの高橋昭五代表、更に習志野シニア団員2名の作品を演奏させていただいている。

習志野シニアの利点は日頃練習している会場が、京成大久保駅の駅前で、駐車場もあるということです。

更に演奏会場になるホールが同じ建物内にあります。難点は練習室が3階でエレベーターがなく、KBや重い楽器、荷物などの運搬に支障があり、そのせいかKBは何人か入団はあったのですが、長続きせず現在は1名です（現在は3階の倉庫にKB等を保管できるようになりました）。楽譜担当の方々には3階から1階への往復と、さらに施設内にコピー機がない為、駅前のコンビニまで走らなければなりませんので、いつも苦労をかけています。でも、よい先生に恵まれ、ご自身でどんどん編曲され、時には出前用のプログラムまで作っていただき感謝しています（少し甘え過ぎかなと反省しています）。月3回の練習室の使用は優先予約が認められていますので、かなり恵まれています。



老人施設など出前演奏では入居の方々に喜ばれ、演奏後団員の晴れ晴れとした良い顔を見るたび、やっぱり音楽は素晴らしいと思います。

「集まって楽しく、合奏して尚楽しく」を心がけ、益々楽しい合奏団を目指してこれからも頑張ります。皆様よろしくお願いします。

つくばシニアアンサンブル

広報 小見山

平成24年9月に、つくば市並木交流センターを活動拠点として発足しました。設立にあたりヤマハミュージックスクエアつくば店の協力を得て、会員数20余名の組織として活動を開始しました。指揮者として菅新先生を迎えて、ご指導いただいている。



発足直後からしばらくは、楽器編成の偏りやリズム系楽器とピアノ担当の不在などもあり、アンサンブル楽団としてのカラーはなかなか決まりません。加えて会員の出入りなどがしばらく続きましたが、指導をされる先生のユニークな雰囲気を核として活動が活性化されてきています。我孫子シニアアンサンブルの賛助出演の支援を受けて、発足後半年に開催しました発足記念コンサート以降には徐々に会員が増え、ピアノとリズム楽器パートなどの担当をおくことができるようになりました。現在では27名となり、活動拠点の音楽室が満員になるような状況にまでなっています。

発足より2年を経まして演奏する曲目も増え、これまでには2箇所の訪問演奏を実施し、加えて3箇所の訪問演奏も予定しています。このアンサンブル楽団の運営はこれまで少人数でこなしていましたが、会員数の増加と定着により安定した運営ができるようになり、運営役員の見直しと今後の活動方針の策定のため、定期総会の開催により運営体制の整備を行いました。その結果、役割ごとにそれ担当者が活躍できるようになり、訪問演奏などが活発に行えるようになりました。

企画が進行中の来年4月の定期演奏会に向けて練習も始まっています。アンサンブル全体の練習活動以外にも、サブグループによる小ユニット演奏ができるようなユニット活動を推進する方針を立て、自由な編成による活動を開始しています。サブユニットも含めて、多彩な演奏活動に向けて練習を重ねています。第1回定期演奏会には楽しい演奏がご披露できるように、準備しています。